

立候補予定者お名前【 】

石木ダムに関するアンケート

(回答は該当する項目を○で囲んでください)

質問1 1972年の予備調査から今日までの石木ダム建設問題の経過と現状について
A よく知っている B 知っている C あまり知らない D 知らない

質問2 佐世保市にとって石木ダム建設の目的は、慢性的な水不足を解消するためと言われています。(あなた自身は)ここ10年間で水不足を実感されていますか。

A 実感している B 実感していない C わからない

Aを選択された方は、具体的にどのような体験をされていますか。

質問3 2019(令和元)年度に佐世保市は、石木ダム建設事業の再評価を実施しましたが、そこで示された水需要予測(「アンケートのお願い」の裏面をご覧ください)は、その後の実績値と大きく乖離しています。この水需要予測について

A 合理的である B 合理的でない C わからない

質問4 佐世保市の北部を流れている佐々川は、県内一大きな2級河川です。九電相浦発電所の廃止と共にその水利権が返上され、灌漑用の水利権もほとんどつかわれていません。これらの遊休水利権を水道用に転用すれば、莫大なコストも要せず水源が確保されます。このことをご存じですか。

A 知っている B 知らなかった

遊休水利権の転用(使われていない水利権を必要なところに転用する)は、国も合理的な水源確保対策として評価しています。あなたはごどう思いますか。

～裏面に続く～

質問 5 石木ダム建設を推進する佐世保市は総事業費として 353 億円を見込んでいましたが、2019 年度の再評価で 445 億円に増額しました。しかし、ダム本体工事費は 2007 年度の予算のままです。人件費や資材の高騰で完成までには相当の増額が予測され、それによる水道事業会計への圧迫は必至です。計画の見直しについて

A 全く必要ない B 検討の余地あり C 必要 D わからない

質問 6 長崎県と川棚町が 1972 年に地元と約束した覚書（石木ダム建設の必要が生じたときは、県は 3 郷の住民と協議し、書面による同意を得た上でないと建設に着手しない。川棚町はこの覚書が守られない時は全力で反対し県の作業を阻止する）が、守られずにダム建設を進めてきたことについてご存じですか。またどうお考えですか。

A 知っている B 知らなかった

質問 7 水没予定地では既に全ての土地や家屋が強制収用されていますが、地元の方々は以前と変わりなくそこで米や野菜を作って暮らすことを願っています。ダム建設を強行し、13 家族の家や暮らしそのものを破壊する行政代執行について、ダムのためなら仕方無いと思われますか？

A 思う B 思わない C わからない

*石木ダム建設事業について考えておられることを自由にお書きください。

大変お忙しい中、ご協力ありがとうございました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。